

登録コード	T2000110	開講年度	2026				
授業科目	電子情報システム工学ゼミナール				担当教員	西新 幹彦	
英文授業名	Electrical and Computer Engineering Seminar				副担当	北 直樹・LEE SOOBEOM	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5時限	対象学生	
講義室	共通教育13講義室	共通教育52講義室	授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	25Tカリ, 23Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				信州大学や専門分野の基礎知識が説明できるようになる。		
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。				インターネットで情報の検索・収集ができるようになる。技術の関係のレポートの構成が作成できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業は週ごとにテーマを設定して、講義やグループワークの形式で学習をします。大学生活に必要な知識とともに電子情報システム工学の基礎を学びます。グループワークでは、テーマについてグループで議論してからレポートにまとめます。なるべく多くの同級生と接する機会を与えるためにグループを毎回変更します。						
(5)授業計画	第1回：PCの基本操作とチューター制度 第2回：教育プログラムの紹介 第3回：インターネット社会とメディアリテラシー 第4回：図書館ガイダンス 第5回：こころの健康，グローバルコア人材育成コース 第6回：情報セキュリティガイダンス 第7回：Window PC操作 1 第8回：Window PC操作 2 第9回：信州大学について 第10回：大学生が巻き込まれやすい犯罪について 第11回：アカデミックライティング 1 第12回：アカデミックライティング 2 第13回：情報デザイン、情報サイエンスコースの研究紹介 第14回：電気電子コースの研究紹介 第15回：電子情報システム工学技術のレポート提出						
(6)成績評価の方法	毎回提出するレポートで評価します。 各レポートは10点満点で評価し、その合計を100点満点に換算します。						
(7)成績評価の基準	レポートの評価基準は次の通りです。 ・内容が理解しているか ・自分の言葉で書いてあるか ・分かりやすく書かれているか 尚、全てのレポートを提出しなければなりません。 90点以上は秀 80点以上は優 70点以上は良 60点以上は可 60点未満は不可						
(8)事前事後学習の内容	事前に授業内容を把握しておくこと。 授業後に内容を振り返って、インターネット等で調べて理解を深めること。授業内容と自分で調べたことを合わせてレポートにまとめること。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	講義室は「共通教育13講義室」をメインにします。 eALPSに授業ページを作成します。 授業の教材やレポートの提出はeALPSを利用しますので、eALPSやメールの使用方法を早めに修得しておくこと。 生成AIを利用したレポート作成は禁止です。						
(10)質問、相談への対応	質問はメールで対応します。各教員のメールアドレスは学科のホームページで公開していますので、直接該当教員にメールで質問して問題ありません。 また、授業のときに教員に直接質問してもいいです。						
(11)その他	主な授業は「共通教育13番講義室」にて行います。 例外の場合は前回の授業やeALPS上で事前告知します。						
【教科書】	指定しない						

【参考書】	指定しない
-------	-------